

科目名称：	インテリア・コーディネート演習Ⅰ	
担当者名：	大場新之助、東田修一、西田恵子、塩村亜希、森みち子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	8
授業の目的・テーマ		
インテリアコーディネーターになるための知識や技術の基礎を身につける。また、インテリアコーディネーター資格取得を目指すための基礎を学び、身につける。		
授業の達成目標・到達目標		
インテリアコーディネートを実践するための知識と技術の基礎を身につけ、簡単なインテリアコーディネートが行える。また、資格取得のための基礎知識や基礎技術を身につける。		

美術学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、主に基礎教育科目により、基礎知識を修め幅広い教養を身につけ、多様な文化や考えに対応できる。	
DP(2)	主に専門科目により、美術に関する理解を深め豊かな表現力を身につけ、社会の一員として貢献できる実践力を身につけている。	○
DP(3)	多様な社会に対応できるように、自己表現を深化させながらも他者の意見を尊重し、様々な表現を受け入れる豊かな人間性をもっている。	
DP(4)	様々な課題に取り組み、応用力と創造力を身につけて、その中から自己の個性を磨き表現できる。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	模擬試験 小テスト	授業への積極性	提出課題 (ルーブリック評価)	合計
美術DP(1)					0
美術DP(2)	0	0	10	90	100
美術DP(3)					0
美術DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》大場新之助：デザイナー	《経験年数1》 11年
	《内容2》東田修一：デザイナー	《経験年数2》 8年
	《内容3》西田恵子：インテリアコーディネーター、講師	《経験年数3》 25年
	《内容4》塩村亜希：建築士(住宅、店舗設計)インテリアコーディネーター、企画広報デザイナー(兼任)	《経験年数4》 25年
	《内容5》森みち子：建築士(一般住宅設計)、インテリアコーディネーター	《経験年数5》 10年

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
知識	インテリアコーディネートに関する知識が良く身につけていて、それを元に問題解決できる。	インテリアコーディネートに関する知識が身につけていて、それを元に問題解決しようとしている。	インテリアコーディネートに関する知識を知っている。	インテリアコーディネートに関する知識があまり身につけていない。
表現力	スケッチや、模型、プレゼンボードを用いて人に感動を与える魅力的な提案ができる。	スケッチや、模型、プレゼンボードを用いて人に伝わる提案ができる。	スケッチや、模型、プレゼンボードを用いて提案ができる。	スケッチや、模型、プレゼンボードを用いているが分かりにくく魅力がない。
行動力	事前準備や調査が十分にできている。興味がある分野を独自に研究できる。	事前準備や調査ができている。興味がある分野がある。	事前準備や調査ができている。	事前準備や調査を怠っている。
プレゼンテーション力	自分の考えや提案を論理的、且つ感動的に伝えることができる。説得力ある主張ができる。	自分の考えや提案を論理的、且つ感動的に伝えることができる。	自分の考えや提案を論理的、且つ感動的に伝えようとしている。	自分の考えや提案がまとまっておらず、理解し難い。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1週 インテリアコーディネートの基礎	インテリアコーディネートの具体例を調べておく。	120分
第2週 インテリアコーディネートの実践1	優れたインテリアコーディネートを集めておく。	120分
第3週 インテリアコーディネートの実践2	具体的なインテリアアイテムを調べておく。	120分
第4週 インテリアコーディネートの実践3	DIYの道具の使用方法を調べておく。	120分
第5週 インテリアコーディネートの実践4	インテリアの歴史について調べておく。	120分
第6週 インテリアコーディネートの実践5	カラーコーディネートについて調べておく。	120分
第7週 インテリアコーディネーター資格学科基礎1	教科書を通読しておく。	120分
第8週 インテリアコーディネーター資格学科基礎2	建築関係の法規に関して調べておく。	120分
第9週 インテリアコーディネーター資格プレゼン基礎1	基本的な作図方法を調べておく。	120分
第10週 インテリアコーディネーター資格プレゼン基礎2	模型制作に必要な素材を集めておく。	120分
第11週 インテリアコーディネーター資格プレゼン基礎3	参考となる魅力的なプレゼンボード資料を収集しておく。	120分
第12週 インテリアコーディネーター資格論文基礎1	マインドマップなどを用いて自身の考えをまとめておく。	120分
第13週 インテリアコーディネート演習1	テーマに対して資料を揃えアイデアを出しておく。	120分
第14週 インテリアコーディネート演習2	コンセプトを決めてプランを練っておく。	120分
第15週 インテリアコーディネート演習3	プランを魅力的にプレゼンテーションできるように表現できるよう準備する。	120分

事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。また、事前事後学修としては、課題にかかわらず社会の動向や環境に関して興味をもち行動すること。インテリア・コーディネーター資格試験の予習復習を怠らないことが必要である。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。
ルーブリックによる課題の評価90% 授業への積極的関与10%

課題に対するフィードバック

それぞれの課題をプレゼンテーション等を通して、各教員がルーブリック等を参考に評価しフィードバックする。

教科書・参考書

「インテリアコーディネーター合格テキスト」「いちばんやさしいパースと背景画の描き方」及び 授業時に各教員から紹介またはプリント配布